

# 【大学院後期課程 人文科学専攻】

# 2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
7100010A6	研究倫理・研究マ ネジメント	高田 将志, 吉田 孝夫	人文科学系	前期不定期 その 他 その他 その他	講義	1年次以上	15時間	1単位	学術研究をすすめていく上で留意すべき研究倫理や研究マネジメントの基礎的事項について解説する。その上で、受講生が各自の学問分野で必要とされる研究倫理や研究計画について考えて、互いに発表して議論を行う。※【授業日注意】：4月～7月の土曜日に、1日1～2コマずつ、計6回にわたってオンラインで開講予定。詳しくは学期初めにLMSで掲示・連絡する。なお、他の集中講義科目とバッティングする場合など、止むを得ない事情のある場合は配慮するので、あらかじめ電子メールで連絡・相談すること。
7110000F6	博士論文執筆指 導	全教員	人文科学系	その他 その他 その 他 その他	論文指導	1年次以上	30時間	2単位	論文執筆のための基礎的知識といくつかの研究方法について確認した上で、専門的知識の獲得と独自の研究方法の確立を目指すべく適切な指導を行う。さらに、博士論文執筆に関して、個別の研究テーマに応じたりサーチやアプローチの方法、論文の構成、内容等について、主任指導教員および副指導教員が連携して、実践的な指導を行う。
7111010A6	先史考古学特論	宮路 淳子	人文科学系	前期 木曜日 5・ 6時限 教員研究 室	講義	1年次以上	2時間	2単位	博士論文を作成する準備として、自らの研究テーマとする考古資料および関連する主要論文を選び、発表・討論を行う。テーマについて先行する研究を学び、学史の整理および問題設定を行い、自らのテーマ（その問題について何を明らかにしたいのか）をより明確にする。
7111020B6	先史考古学演習	宮路 淳子	人文科学系	後期 木曜日 5・ 6時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	博士論文を作成するため、自らの研究テーマとする考古資料について発表・討論を行う。研究テーマについての視座を先鋭化し研究を深める。
7111030A6	歴史考古学特論	神野 恵	客員教員	前期 その他 その 他 奈良文化財研 究所	講義	1年次以上	2時間	2単位	歴史考古学の対象として、飛鳥時代から近世にいたる土器、陶磁器、土製品について、実際の遺物を教材に講義をおこなう。縄文時代以降、現代に至るまで、土器・土製品は人間の生活に必要な不可欠な道具である。そのため、遺跡から普遍的に出土する土器は、遺構の年代を決めるうえで、重要な指標となる遺物である。もっとも多様な器種を生み出した7、8世紀（律令期）の土器は、さまざまな地域から都城に土器が持ち込まれた時期であり、生産と流通の視点は不可欠である。また、食器としての土器以外にも、製塩土器や陶硯、土馬、人面墨書土器など、古代の人々の生活に関わる土製品がたくさんある。これらの分析を通じて、藤原京、平城京に生きた人々の生活を考究したい。また、平城京が廃都となった後は、寺社を中心に奈良は発展をとげ、中近世の遺跡も多い。これらの遺跡の年代を決めるのも、また土器である。中近世の土器の年代をはかる「ものさし」作りは、考古学研究の根幹であり、どの地域、どの時代の歴史研究にとって、必要不可欠な作業である。実際に南都の寺院から出土した土器の編年作業を、遺物に則して解説し、実践的な講義内容としたい。
7111040B6	歴史考古学演習	神野 恵	客員教員	後期 その他 その 他	演習	1年次以上	2時間	2単位	飛鳥時代から奈良時代の土器・陶磁器を中心に、実際の出土遺物を用い、演習をおこなう。出土遺物の観察方法は、実体顕微鏡を用いた胎土の観察をはじめ、実測図の作成、拓本の作成、石膏復元、データベース作成、デジタルによる3次元計測など、基本的な考古学の手法が身につけていることを前提に、より高度な遺物観察方法、実測図作成、写真撮影法などを実践的な演習をおこなう。
7111050A6	東アジア考古学特 論	今井 晃樹	客員教員	前期 その他 その 他 奈良文化財研 究所	講義	1年次以上	2時間	2単位	日本の古代文化は、東アジア諸国からさまざまな影響を受けて成立してきた。本講義では、日本の7世紀、8世紀の文化と同時期の東アジア諸国の文化を比較検討し、彼此の間で具体的にどの部分がどのような影響関係があるかを明らかにしていく。主に考古学の研究成果を検討の中心とするが、必要に応じて、歴史学、美術史、建築史等の関連諸科学の成果も参照する。
7111060B6	東アジア考古学演 習	今井 晃樹	客員教員	後期 その他 その 他	演習	1年次以上	2時間	2単位	日本の古代文化は、東アジア諸国からさまざまな影響を受けて成立してきた。本講義では、日本の7世紀、8世紀の文化と同時期の東アジア諸国の文化を比較検討し、彼此の間で具体的にどの部分がどのような影響関係があるかを明らかにしていく。主に考古学の研究成果を検討の中心とするが、必要に応じて、歴史学、美術史、建築史等の関連諸科学の成果も参照する。
7111070A6	民族考古学特論	武藤 康弘	人文科学系	前期 月曜日 9・ 10時限 N 3 1 4	講義	1年次以上	2時間	2単位	In this class on ethno-archeology, I will compare the results of anthropological research on native peoples in North America with the results of archeological surveys on indigenous people's living cultures.
7111080B6	民族考古学演習	武藤 康弘	人文科学系	後期 月曜日 9・ 10時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	We will compare and discuss the basic research methods of process archeology and the method of post-process archeology
7111090A6	木簡学特論	桑田 訓也	客員教員	前期 水曜日 5・ 6時限 奈良文化 財研究所	講義	1年次以上	2時間	2単位	文献史料だけでなく多様な資料が歴史資料として注目されるようになってきた今日、従来の枠組みにとらわれない新しい歴史資料論が必要となってきました。中でも考古学による調査成果、特に木簡をはじめ、墨書土器、漆紙文書などの出土文字資料が歴史資料に占める位置づけは格段に大きくなっています。このような状況をふまえて、受講生のみならずとともに、新しい日本史の歴史資料論の構築を目指したいと思います。
7111100B6	木簡学演習	桑田 訓也	客員教員	後期 水曜日 5・ 6時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	文献史料だけでなく多様な資料が歴史資料として注目されるようになってきた今日、従来の枠組みにとらわれない新しい歴史資料論が必要となってきました。中でも考古学による調査成果、特に木簡をはじめ、墨書土器、漆紙文書などの出土文字資料が歴史資料に占める位置づけは格段に大きくなっています。このような状況をふまえて、受講生のみならずとともに、新しい日本史の歴史資料論の構築を目指したいと思います。
7111130A6	日本中世社会文 化史論	西谷地 晴美	人文科学系	前期 木曜日 9・ 10時限 S 3 2 7	講義	1年次以上	2時間	2単位	日本の古代・中世に関する刺激的な論考の輪読と、各自の研究報告を交互に行う。
7111140B6	日本中世社会文 化史論演習	西谷地 晴美	人文科学系	後期 木曜日 9・ 10時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	日本の古代・中世に関する刺激的な論考の輪読と、各自の研究報告を交互に行う。
7111150A6	国風文化論	西村 さとみ	人文科学系	前期 水曜日 1・ 2時限 S 3 2 7	講義	1年次以上	2時間	2単位	日本の文化・思想に関する研究文献の批判的検討を通して、文化史の方法論ならびにその可能性を追究する。また、受講者各自の研究テーマにもとづく報告と、それをめぐる討論もあわせておこなう。
7111160B6	国風文化論演習	西村 さとみ	人文科学系	後期 水曜日 1・ 2時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	日本の文化・思想に関する研究文献および関連史料の講読を通して、文化史の方法論ならびにその可能性を追究する。また、受講者各自の研究テーマにもとづく報告と、それをめぐる討論も、あわせておこなう。

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
7111200A6	西洋社会文化史論	林田 敏子	生活環境科学系	前期 その他 その 他 第3演習室 (A210)	講義	1年次以上	2時間	2単位	戦争とジェンダーをテーマに、古代から現代までの西洋世界の歴史を再考する。ジェンダー史や戦争史のみならず、広義の文化史に関する最新の研究成果を取り入れながら、時代や地域、学問領域にとらわれない研究の方向性 / 可能性について考える。とりわけ、女性に求められた戦時の役割や女性表象が果たした機能、戦時の「男らしさ」をめぐる価値観の変遷、戦時下の「性」（セクシュアリティをめぐる規範・軋轢・暴力）の問題に焦点をあてる。
7111220A6	アジア文化史論	矢島 洋一	人文科学系	前期 月曜日 3・ 4時限 教員研究 室	講義	1年次以上	2時間	2単位	アジア文化史を原典史料から構築する手法を学ぶ。地域的・時代的多様性をもつアジアの歴史について研究するには、まず研究対象地域の語学の習得から始め、史料を当時の文化的背景に関する知識を踏まえて読解し、得られた知見でその知識を修正していく作業を繰り返していかなければならない。またアジア史は多くの場合多言語・多文化が交錯する場なので、複数の言語・文化に関する知識と比較の視点が必要となる。本科目では以上の作業を行うために必要な技術が何かを見極め修得するための手法を学ぶ。
7111230B6	アジア文化史論演習	矢島 洋一	人文科学系	後期 月曜日 3・ 4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	アジア文化史に関する原典史料を、その性格や歴史的意義について議論しつつ読み進めていく。史料の解釈には、まず文章として正確に読解したうえで、当時の文化的背景を踏まえつつ、その記述が歴史の何を反映しているか考察していく必要がある。本科目では参加者の研究対象文献について、必要に応じて地域間比較の手法や先行研究の精査を援用しつつ、歴史史料としての意義を検討する。さらにそこから得られた知見を学術論文として発表することを目指す。
7112030A6	日本語文化表現論	尾山 慎	人文科学系	前期 木曜日 1・ 2時限 N327	講義	1年次以上	2時間	2単位	日本語学において文字表記論はいかに構築されてきたか、先人の議論を熟読し、批判的検討を行う。個別の研究論文もさることながら、論集・著作において示される方法論、研究としての意義可能性を各研究者がどのように描いているかを把握する。現状、漢字しか存在しなかった上代の文字表記論が、以降の時代から切り離されている観があるが、平仮名成立以降の議論とどうリンクさせられるか、あるいはいつあるかということに着目して、主に前期は一大研究史を描出することを目的とする。
7112040B6	日本語文化表現論演習	尾山 慎	人文科学系	後期 木曜日 1・ 2時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	日本語学において文字表記論はいかに構築されてきたか、先人の議論を熟読し、批判的検討を行う。個別の研究論文もさることながら、論集・著作において示される方法論、研究としての意義可能性を各研究者がどのように描いているかを把握する。現状、漢字しか存在しなかった上代の文字表記論が、以降の時代から切り離されている観があるが、平仮名成立以降の議論とどうリンクさせられるか、あるいはいつあるかということに着目する。
7112060B6	中国言語文化分析論演習	大平 幸代	人文科学系	後期 水曜日 1・ 2時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	「魏晋南北朝文人研究」 魏晋南北朝期の文人に関する伝記史料や後世の批評を読み、文人像の形成や評価のされ方を探る。対象とする文人について、資料を博捜し、時代による評価の変遷などに留意しながら検討する。
7112070A6	中国言語文化表現論	前田 真砂美	人文科学系	前期 水曜日 1・ 2時限 N219	講義	1年次以上	2時間	2単位	高度に孤立語的であり、文法形式に乏しいとされる中国語が、如何なる手段を用いて、様々な事態やその知覚、あるいは人間の種々の認知活動を表現しようとしているのか。特定の文化圏とそこで使用される言語にはどのような関連があるのか。これらの点を問題意識の底に据えつつ、主に中国で発表された論文を精読し、中国語学の分野における研究動向について理解を深めるとともに、問題を発掘する力を養う。
7112080B6	中国言語文化表現論演習	前田 真砂美	人文科学系	後期 水曜日 1・ 2時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	中国語で書かれた最新の研究論文を読み、言語と文化のかかわり、あるいは言語とその表現機能について、中国語学の分野における先行研究の分析とその問題点の指摘を行なったうえで議論を行い、新たな知見の獲得を目指す。授業は演習形式で、発表者が関連書籍や論文を紹介し、概要の報告と問題提起をしたうえで、全員で議論を行う。
7112090A6	中国言語文化伝承論	野村 鮎子	人文科学系	前期 木曜日 5・ 6時限 N325	講義	1年次以上	2時間	2単位	「中国女性文学研究Ⅰ」 西洋の過去2回のフェミニズム運動の波は、中国の文学史の叙述と批評に、大きな影響を与えた。特に最初の五四運動以降、中国古典文学史の分野でも、女性文学の欠落を埋めようとする研究が勃興する。前期の授業では、五四時期以降の女性主義文学批評に関する理論とその影響について検討する。授業は演習形式とし、発表担当者はこのテーマに関わる研究者の著書や論文を一つ択んで、授業で報告し、受講者全員がそれについて検討する。
7112100B6	中国言語文化伝承論演習	野村 鮎子	人文科学系	後期 木曜日 5・ 6時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	「中国女性文学研究Ⅱ」 西洋の過去2回のフェミニズム運動の波は、中国の文学史の叙述と批評に、大きな影響を与えた。後期の授業では、特に1980年代以降の新しいフェミニズム理論が、中国古典文学や女性文学研究にあたえた影響について検討する。授業は演習形式とし、発表担当者はこのテーマに関わる研究者の著書や論文を一つ択んで、授業で報告し、受講者全員がそれについて検討する。
7112110A6	日本アジア表徴文化論	佐藤 有希子	人文科学系	前期 その他 その 他 教員研究室	講義	1年次以上	2時間	2単位	日本をはじめとするアジアの仏教美術作品をとりあげ、主に6-13世紀の表徴文化について検討、考察する。当該時期のアジア地域における表徴文化を理解するにあたって、仏教美術は無視することのできない重要な位置を占めている。仏教文化は各時代、各地域の王権によって、その権威を示すためのツールとしてしばしば利用されてきた。この時期の仏教美術は、宗教的な表徴としてのみではなく、政治社会的な表徴としても理解されるべきものである。以上の認識を踏まえ、本講義では仏教文化と王権との関わりを重視しながら、日本アジア各地域の仏教遺跡や文物をとりあげ、その造形的特質や制作背景について理解を促す。
7112120B6	日本アジア表徴文化論演習	佐藤 有希子	人文科学系	後期 その他 その 他	演習	1年次以上	2時間	2単位	6-13世紀の日本をはじめとするアジアの仏教美術史に関する最新の研究論文をとりあげ、それについて批判的検討を加える。討議形式。その後、各人の興味に沿った研究テーマについて発表を行う。
7112130A6	奈良時代文献資料論	佐々田 悠	客員教員	前期 金曜日 その 他 N325	講義	1年次以上	2時間	2単位	正倉院文書は、奈良時代に東大寺写経所が写経事業を進める過程で形成した一大史料群である。そこには、編纂された史料にはみられない、仕事の現場に密着した古代人の言語活動の痕跡を窺うことができる。本演習では、正倉院文書の原本調査に携わっている講師の指導のもと、史料としての正倉院文書の扱い方を学びながら、古代の国家・社会・人のあり方等について考察することをテーマとする。

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
7112140B6	奈良時代文献資料論演習	佐々田 悠	客員教員	後期 金曜日 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	日本古代の重要な文献史料である正倉院文書を主たる素材に、東アジア古代社会において「文字を使用してしごとを行う」ことの意味を考えながら、文字資料から何を読みとることができ、いかなる歴史像を構築しうるかをテーマに授業を行う。正倉院宝物の保存・管理を担う本務先（宮内庁正倉院事務所）での知見に基づいて、正倉院展の会期前には出陳品に関する解説を行う。会期中に博物館に足を運んで、文書を含めた宝物の現物を通して歴史を考える機会も設ける。
7112150A6	日本古典文化資料論	野尻 忠	客員教員	前期 水曜日 5・6時限 N 3 2 5	講義	1年次以上	2時間	2単位	日本古代・中世仏教資料の識語と銘文 日本の古典資料のなかで大きなウェイトを占めるものに、仏教資料がある。写経や聖教といった典籍はその代表と言えるが、そうした紙媒体に記されたもの以外に、仏像や仏具などの造形品に記された文字（銘文）があり、これも重要な仏教資料である。また、写経や聖教であっても、本文テキストとは別に、それを製作した理由や目的を書き記すことがしばしばおこなわれた（識語）。本講義では、こうした銘文や識語を読み進め、当時の人々の思考に迫ってみたい。当面は、写経の識語を取り上げ、必要に応じて他の銘文資料も扱う。
7112160B6	日本古典文化資料論演習	野尻 忠	客員教員	後期 水曜日 5・6時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	日本古代・中世仏教資料の識語と銘文 日本の古典資料のなかで大きなウェイトを占めるものに、仏教資料がある。写経や聖教といった典籍はその代表と言えるが、そうした紙媒体に記されたもの以外に、仏像や仏具などの造形品に記された文字（銘文）があり、これも重要な仏教資料である。また、写経や聖教であっても、本文テキストとは別に、それを製作した理由や目的を書き記すことがしばしばおこなわれた（識語）。本講義では、こうした銘文や識語を読み進め、当時の人々の思考に迫ってみたい。当面は、写経の識語を取り上げ、必要に応じて他の銘文資料も扱う。
7112170A6	日本アジア言語分析論	鈴木 広光	人文科学系	前期 火曜日 1・2時限 N 3 2 8	講義	1年次以上	2時間	2単位	従来、日本語の文体は、用字・用語、文末詞の選択の問題か、作家等の個人に還元して論じられてきたが、それらはいずれもジャンル意識を自明のものとしてきた。この演習では、そもそも文体やジャンルなるものを構成し、読者にそれを意識させる要素は何なのかを抽出する作業を行う。そのために文体を、これまでの指標だけでなく、文の型や文章の論理構成の型、書体の選択や文字・語句の空間への配置形式などを含み込む「型（フォーマット）」という観点から分析する。この演習では、参加者が各自の専門 s で扱うテキストを持ちより、詳細に観察して、テキストが「読める」形式というものを成立せしめている諸要素の存在を析出し、文体やジャンルという考え方を洗い直すことを目指したい。前期はまず山本貴光『文体の科学』を読み、分析のための観点や枠組みを確認するところから始める。
7112180B6	日本アジア言語分析論演習	鈴木 広光	人文科学系	後期 火曜日 1・2時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	日本語の文体はこれまで、用字・用語、文末詞の選択の問題か、作家等の個人に還元して論じられてきたが、それらはいずれもジャンル意識を自明のものとしてきた。この演習では、そもそも文体やジャンルなるものを構成し、読者にそれを意識させる要素は何なのかを抽出する作業を行う。そのために文体を、これまでの指標だけでなく、文の型や文章の論理構成の型、書体の選択や文字・語句の空間への配置形式などを含み込む「型（フォーマット）」という観点から分析する。前期同様、参加者が各自の専門 s で扱うテキストを持ちより、詳細に観察して、テキストが「読める」形式というものを成立せしめている諸要素の存在を析出し、文体やジャンルという考え方を洗い直すことを目指したい。
7112190A6	日本古代中世文学論	奥村 和美	人文科学系	前期 木曜日 1・2時限 N 2 2 5	講義	1年次以上	2時間	2単位	萬葉集をめぐる諸問題。萬葉後期の歌を中心に、宮廷讃歌、挽歌、相聞、詠物歌、或いは歌集歌、歌日誌、連作、中国文学の受容等々をめぐる諸問題について、注釈史及び近・現代の研究史を踏まえつつ考察する。
7112200B6	日本古代中世文学論演習	奥村 和美	人文科学系	後期 木曜日 1・2時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	萬葉集をめぐる諸問題。萬葉後期の歌を中心に、宮廷讃歌、挽歌、相聞、詠物歌、或いは歌集歌、歌日誌、連作、中国文学の摂取等々をめぐる諸問題について、注釈史及び近・現代の研究史を踏まえつつ考察する。
7112210A6	日本近世近代文学論	磯部 敦	人文科学系	前期 金曜日 7・8時限 教員研究室・前期 金曜日 9・10時限 教員研究室	講義	1年次以上	2時間	2単位	前登志夫書簡を翻刻するとともに、第一歌集『子午線の繭』収録歌を初出との比較も含めて解釈する。
7112220B6	日本近世近代文学論演習	磯部 敦	人文科学系	後期 金曜日 7・8時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	前期に引き続いて前登志夫書簡を翻刻するとともに、第一歌集『子午線の繭』収録歌を初出との比較も含めて解釈する。
7113010A6	欧米比較文学論	中川 千帆	人文科学系	前期 火曜日 7・8時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	Governesses have taken an important place in feminist literary studies. However, this class does not read major governess novels by the Bronte sisters, such as Jane Eyre and Agnes Grey. This class is not about realistic historical and social situations surrounding governesses, rather about literary imaginations projected onto the figure of the governess. The governess allowed middle-class women to have a decent profession. In addition, it allowed female writers to explore the possibility of self-realization and independence. Sometimes the governess is thrown into a Gothic house to investigate strange noises and suspicious shadows, or seen as villains who trample upon the rigid social line. The governess has become one of the favorite characters in historical romance novels today. This class aims to illuminate various images and significances of the governess, positive and negative, such as women's independence, love, social climbing, and intellect. We will discuss in the first class what works we will read in this class; the below is a suggested lineup.

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
7113020B6	欧米比較文学論 演習	中川 千帆	人文科学系	後期 火曜日 7・ 8時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	The figure of the double, doppelganger, or twin, has inspired many writers, resulting in numerous works throughout history. In the Gothic, the double appears to question the uniqueness and/or multiplicity of the self. Tvetan Todrov argues that the double is one of the motifs of the fantastic, in the category of the theme of the self. Explorations into the self and into the issue of identity, however, are not only the question of philosophy or psychology. The theme can permeate genres, history, and cultures. This class will read the various novels and short stories in which the double appears, whether as a main character or a subordinate character, to see how the theme of the double is used in fiction. The below is a suggested reading list for this class—after discussing with participants, we may decide to read different titles.
7113040A6	欧米文化表現論 演習	イトワトウ タニル マーク	非常勤講師	後期集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	
7113050A6	言語コミュニケーション論	須賀 あゆみ	人文科学系	前期 木曜日 1・ 2時限 S 3 3 4	講義	1年次以上	2時間	2単位	This course intends to explore the system of communication from the perspective of Conversation Analysis. Specific attention will be given to how the speaker's design of the utterance with the assumptions of the hearer's knowledge contributes to the achievement of interaction. We will deal with cross-linguistic studies to consider how the grammars affect the shapes of interaction. (この授業では会話分析の視点からコミュニケーションのしくみについて探究する。特に、話し手が聞き手の知識を想定して行う発話のデザインがどのように相互行為の達成に寄与するのかに焦点を当てる。日英語を比較してどのように文法が相互行為に影響を与えるのかを考察する。)
7113060B6	言語コミュニケーション論演習	須賀 あゆみ	人文科学系	後期 水曜日 1・ 2時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	This course is intended to explore the relationship between grammar and social interaction. Using Conversation Analysis, we will discuss how certain types of linguistic formulations (either lexical or constructional) are selected in a particular moment of talk-in-interaction. We will observe such practices in naturally occurring conversational data, and discuss them with regard to turn design, sequence organization and social activities. This class includes Data Sessions, where a member will bring data of her own interest and we will observe them from various perspectives. (この授業では文法と社会的相互行為との関係について探究する。会話分析の手法を用いて、どのように特定の言語形式(語彙・構文)が会話の特定の場で選択されるのかという問題について議論する。自然発生的会話データに生じる現象を観察し、ターン・デザイン、連鎖組織、社会的活動を考慮に入れながら検討する。受講生各自が持ち寄ったデータについてディスカッションを行なう機会も設ける。)
7113070A6	言語分析論	吉村 あき子	人文科学系	前期 金曜日 5・ 6時限 S 3 1 2	講義	1年次以上	2時間	2単位	This class focuses on the cognitive-pragmatic aspect of language, and discusses human cognitive mechanisms operating behind our language uses: how human perception and cognition are reflected on our language uses; what kind of cognitive constraints are involved in them, etc. From the cognitive viewpoint of utterance interpretation processes, semantics and pragmatics are characterized by codes and inferences respectively. The target of analysis covers from lexical expressions to communication units beyond sentences, and the topics vary. This class updates the students' linguistic theoretical knowledge of semantics, pragmatics and cognitive linguistics and develops their abilities of analyzing linguistic data. The prospective students should attend the first class (1st Week).(ことばの認知語用論的側面に焦点を当て、人間の知覚や認識が言語にどのように反映され、どのような制約を課しているかという視点から、ことばの背景に働く認知メカニズムを論じる。言語学における意味論と語用論は、発話の認知処理プロセスの視点から、それぞれコードと推論によって特徴づけられる。分析対象の単位としては、語彙表現から文を超えたコミュニケーションに至るまで、多様な言語現象の意味論的・語用論的側面に注目し、最新の認知理論について論じる。注：初回授業時出席必須)
7113080B6	言語分析論演習	吉村 あき子	人文科学系	後期 木曜日 1・ 2時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	This class aims to develop students' abilities of analyzing a variety of linguistic data, by understanding and examining high-quality linguistic research papers published in international journals such as SCOPUS, with close attention to the latest trends in cognitive pragmatics. (認知(語用)理論の最新の動向に注意を払いながら、具体的な言語現象に関する言語学的文献を理解し検証することを通して効果的な分析方法を学び、言語分析を実践する。具体的な言語現象に関して、認知語用論的分析の国際ジャーナルレベルの文献を精読して理解し、検証・議論することを通して、言語の認知的分析の最新動向を把握しつつ、当該領域における言語分析の問題意識の在処を理解し、具体的なトピックについて認知語用論的言語分析を実践する。)
7113110A6	イギリス文学分析論	齊藤 美和	人文科学系	前期 金曜日 3・ 4時限 教員研究室	講義	1年次以上	2時間	2単位	Close critical analysis is at the heart of the study of literature. In this course we shall look at a selection of poetry and prose from the seventeenth to the eighteenth century, using key concepts and terms of the critical idiom.
7113120B6	イギリス文学分析論演習	齊藤 美和	人文科学系	後期 金曜日 3・ 4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	Close critical analysis is at the heart of the study of literature. In this course we shall look at a selection of poetry and novels from the nineteenth to the twentieth century, using key concepts and terms of the critical idiom.

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
7113130A6	イギリス文学表現論	市川 千恵子	人文科学系	前期 金曜日 7・8時限 S311	講義	1年次以上	2時間	2単位	This course aims to analyse modes of representation in women's writing on women, by focusing on biographies of women authors written by women. We will examine the ways in which biographical works represent gender and social issues. At the same time, we will examine how the authors utilise fictional techniques in their writing. In so doing, we will discuss specific topics and deepen our understanding of 'Life Writing' as a literary subgenre.
7113140B6	イギリス文学表現論演習	市川 千恵子	人文科学系	後期 金曜日 7・8時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	This course aims to analyse modes of representation in 'Life Writing' including biographies, autobiographies and memoirs. We will examine the ways in which the authors represent intricate relationships between others and selves, by close reading of the texts. In this course, we will also read recent academic articles in this genre, which will prompt participants to explore new aspects in this field.
7113150A6	アメリカ現代文学論	竹本 憲昭	人文科学系	前期 火曜日 5・6時限 S333	講義	1年次以上	2時間	2単位	現代アメリカ文学の作品として、主に20世紀の小説をとりあげ、テキストの精読をもとに作品の検討、解釈を行う。人種・民族的にも、宗教的にも、ジェンダー的にも、様々な問題を抱え複雑なアメリカ社会のあり方を反映した文学作品は、多種多様な読み方を可能にする豊かさをもっている。また、リアリズム・ナチュラリズム、モダニズム、ポストモダニズムと、時代とともに主流となる手法が移り変わって、各時代の世相に応じた実験的・個性的な作品が創造されている。こうした多様性に目配りしながら、主要な作家の代表作を丁寧に読み進め、現代アメリカ文学の広く深い理解を促す。今年度はWilliam Faulknerの代表的短篇を精読する。
7113160B6	アメリカ現代文学論演習	竹本 憲昭	人文科学系	後期 火曜日 5・6時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	現代アメリカ文学の作品として、主に20世紀の小説をとりあげ、様々な観点から作品の検討を進める。作品の背景となる社会や文化が、現代アメリカにおいてはどのようなものであるのか、19世紀以前のアメリカや、現代の日本、イギリスなどと比較し、現代アメリカ特有の人種・民族的、宗教的、ジェンダー的な問題点を明らかにしたうえで、様々な批評理論や先行研究にもある程度の目配りをしながら、作品の解釈を自由な討論の形式で行う。
7113170A6	フランス文学表現論	高岡 尚子	人文科学系	前期 月曜日 1・2時限 S333	講義	1年次以上	2時間	2単位	フランスにおける近代と哲学・文学について、専門書（ポール・ベニシュ『作家の聖別』）を読みながら、幅広く考察し、論じる。
7113180B6	フランス文学表現論演習	高岡 尚子	人文科学系	後期 月曜日 1・2時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	フランスにおける近代と哲学・文学について、専門書（ポール・ベニシュ『作家の聖別』）を読みながら、幅広く考察し、論じる。
7113190A6	ドイツ文学表現論	吉田 孝夫	人文科学系	前期 月曜日 7・8時限 S334	講義	1年次以上	2時間	2単位	Bertolt Brecht: Mutter Courage und ihre Kinder 研究
7113200B6	ドイツ文学表現論演習	吉田 孝夫	人文科学系	後期 月曜日 7・8時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	Bertolt Brecht: Mutter Courage und ihre Kinder 研究
7113210A6	言語情報論	渡辺 太郎	非常勤講師	前期集中 その他 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	計算機による自然言語処理の現状、および、その基礎となる言語解析手法、言語学研究のための言語データの利用について解説する。具体的には、英語や日本語を対象にした形態素解析、統語解析、意味解析など基本的な解析技術を説明し、深層学習など機械学習を応用したアルゴリズムについて解説する。さらに、情報抽出や機械翻訳、要約、質問応答など、自然言語処理の応用研究を紹介する。
7120000F6	博士論文執筆指導	全教員	人文科学系	その他 その他 その他 その他	論文指導	1年次以上	30時間	2単位	論文執筆のための基礎的知識といくつかの研究方法について確認した上で、専門的知識の獲得と独自の研究方法の確立を目指すべく適切な指導を行う。さらに、博士論文執筆に関して、個別の研究テーマに応じたリサーチやアプローチの方法、論文の構成、内容等について、主任指導教員および副指導教員が連携して、実践的な指導を行う。
7121010A6	人間形成思想史論	二井 仁美	人文科学系	前期 木曜日 3・4時限 教員研究室	講義	1年次以上	2時間	2単位	授業者と受講者の関心の所在を中心に据えながら、人間形成思想史研究における史料調査と史料批判の方法について考察する。今年度は、感化院・少年教護院・教護院からの社会的自立、犯罪・非行からの離脱についての研究を検討することを通し、人間形成に関する研究の方法と視点を考察する。
7121020B6	人間形成思想史論演習	二井 仁美	人文科学系	後期 木曜日 3・4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	学位論文執筆に向け、基本的な先行研究や史料について、研究報告と討議を通じて相互に検討する。
7121030A6	教育システム論	保田 卓	人文科学系	前期 金曜日 5・6時限 教員研究室	講義	1年次以上	2時間	2単位	N・ルーマンの社会システム理論によれば、教育システムと芸術システムは近代になってそれぞれ全体社会から分化した機能システムと捉えられる。近代教育においては芸術との関わりがさまざまに模索されてきたが、システム理論の立場からは、そこに社会という媒介項を抜きにしては考えられない。この授業では、芸術と社会の相互関係について、主としてルーマン社会システム理論に依拠しつつ論じる。
7121040B6	教育システム論演習	保田 卓	人文科学系	後期 木曜日 9・10時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	教育社会学の諸領域から精選した論文を講読する。各受講者に論文を割り当て、授業では各回担当の受講者が論文の内容をまとめたレジュメを作成してプレゼンテーションを行った後、全体で討議する。
7121050A6	音楽文化論	藤井 康之	人文科学系	前期 火曜日 9・10時限 N116	講義	1年次以上	2時間	2単位	音楽教育学や音楽学の視点から、主にテキストに基づきながら、人間にとって音楽がどのような存在であり、その存在がどのような意味を持つのかについて深く考察する。音楽教育学の視点からは、学校音楽の歴史に焦点化し、明治期から現代まで、学校音楽は子どもの音楽経験をどのような目的の下、どのような方法で意味づけ、音楽文化を創り上げようとしたのか、各時代に指導的役割を果たしてきた音楽教師たちの言説を通して、その意義と課題を検討する。音楽学の視点からは、今日もっともポピュラーな楽器の一つである鍵盤楽器に焦点を当て、鍵盤楽器の誕生と発展、普及が音楽文化の形成にどのような影響を及ぼし、現在に継承されてきたのかを考察する。

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
7121060B6	音楽文化論演習	藤井 康之	人文科学系	後期 火曜日 5・ 6時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	人間がどのように音楽と関わり、音楽文化を創造していく主体となっていくのかについて、音楽（教育）哲学、音楽美学、音楽（教育）史等のさまざまな学問分野の成果を援用しながら考察する。本演習では、テキスト講読だけではなく、実際の演奏や受講生同士のディスカッションを通して、受講生一人ひとりの音楽経験や音楽との向き合い方を自覚化・相対化しつつ音楽をすることの意味を探究し、これからの音楽文化をどのように創造していくのか、考えを深める。
7121070A6	思想文化論	柳澤 有吾	人文科学系	前期 木曜日 3・ 4時限 F 4 0 6	講義	1年次以上	2時間	2単位	前半は着眼点や議論の構造に注目しながら、哲学や広く思想文化にかかわる文献について検討する（今年度は花崎卓平『アイデンティティと共生の哲学』ほか）。後半では、受講生と相談の上、各自の研究テーマとの関連で重要な二次文献を取り上げる。毎回、担当者がレジュメを作成・発表した後、全体で検討・議論する。
7121080B6	思想文化論演習	柳澤 有吾	人文科学系	後期 木曜日 3・ 4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	学位論文作成のための基礎的作業を行う。主たる一次文献および重要参考文献について、各自で批判的検討を行った結果について全体で吟味し議論する。
7121090A6	身体文化論	鈴木 康史	人文科学系	前期 火曜日 7・ 8時限 教員研究 室	講義	1年次以上	2時間	2単位	竹内洋『学歴貴族の栄光と挫折』を講読する。本書内で使われる資料を一次資料に戻って確認し、竹内の他の著作にもあたりながら、わが国の戦前の高等教育について考察する。
7121100B6	身体文化論演習	鈴木 康史	人文科学系	後期 金曜日 5・ 6時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	足田雅昭ほか編『スポーツする文学—1920-30年代の文化詩学』を講読する。本書内で使われる資料を一次資料に戻って確認し、わが国の戦前のモダニズム文化について考察する。
7121110A6	社会心理学	中山 満子	人文科学系	前期 金曜日 9・ 10時限 N 2 1 6	講義	1年次以上	2時間	2単位	現代社会における対人関係を中心に、社会心理学の最新の知見について受講生各人が発表を行い、それに関して議論を行う形で授業を行う。発表、討論、講義を通して、各人の研究テーマについて考究する。
7121120B6	社会心理学演習	中山 満子	人文科学系	後期 金曜日 9・ 10時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	現代社会における対人関係を中心に、社会心理学の最新の知見について受講生各人が発表を行い、それに関して議論を行う形で授業を行う。発表、討論、講義を通して、各人の研究テーマについて考究する。
7121130A6	認知心理学	天ヶ瀬 正博	人文科学系	前期 金曜日 3・ 4時限 N 2 1 5	講義	1年次以上	2時間	2単位	身体性（embodiment）と実環境着地（grounding）に対する社会的アプローチ、認知的アプローチ、情動的アプローチ、そして、神経科学的アプローチについて、文献を読み進めながら講じる。
7121140B6	認知心理学演習	天ヶ瀬 正博	人文科学系	後期 金曜日 3・ 4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	身体性（embodiment）と実環境着地（grounding）に対する社会的アプローチ、認知的アプローチ、情動的アプローチ、そして、神経科学的アプローチについて、履修者が各自で文献を読み発表し討論する。
7121150A6	臨床発達心理学	狗巻 修司	人文科学系	前期 木曜日 9・ 10時限 N 2 1 7	講義	1年次以上	2時間	2単位	発達心理学および臨床発達心理学の最新の知見について受講生各人が発表を行い、それに関して議論を行う形で授業を行う。発表、討論、講義を通して、各人の研究テーマについて考究する
7121160B6	臨床発達心理学 演習	狗巻 修司	人文科学系	後期 木曜日 9・ 10時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	発達心理学および臨床発達心理学の最新の知見について受講生各人が発表を行い、それに関して議論を行う形で授業を行う。発表、討論、講義を通して、各人の研究テーマについて考究する
7121170A6	教育心理学	竹橋 洋毅	人文科学系	前期 水曜日 3・ 4時限 N 2 1 1	講義	1年次以上	2時間	2単位	目標追求、動機づけ、自己制御などの教育心理学的なテーマにかかわる心理学で重要とされる書籍を読み、議論することによって、これらのテーマにおける研究の系譜や最前線の動向について理解を深めることを目的とする。現代のモチベーション研究では、人が外界からの情報を取り入れ、処理した結果、判断や行動が生じるという社会的認知モデルが採用されている。そこで、本年度は「社会的認知研究」を輪読し、議論することで、社会的認知の理論や知見について理解する。
7121180B6	教育心理学演習	竹橋 洋毅	人文科学系	後期 水曜日 1・ 2時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	本科目では、先端的な教育心理学領域の知見を理解し、新しい研究を構想する力を収めんとするために、教育心理学領域の研究論文を主に講読し、ディスカッションする。より具体的には、学習のメカニズムやそれを支える動機づけ、セルフコントロール、原因帰属、集団力学、学習評価、精神的健康についての論文を読み、建設的に議論する。
7122010A6	文化社会学	小川 伸彦	人文科学系	前期 木曜日 1・ 2時限 N 3 3 0	講義	1年次以上	2時間	2単位	文化社会学の諸問題「文化」は、関与する諸主体による意味づけを核として成立している。この意味づけは、異文化との接触や、立場・利害を異にする集団・階層間の相互作用、さらには国民国家の秩序形成や民族集団のアイデンティティ構築の営みによって変容し、翻っては、この意味づけの変化が新たな文化を生成する動因となる。この授業では、文化の様態をこのように捉えた上で、文化社会学の諸問題を理論的かつ経験的に討議する。
7122020B6	文化社会学演習	小川 伸彦	人文科学系	後期 木曜日 1・ 2時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	地球的規模の情報化や価値の多元化が進展する現代社会にあって、様々な立場や環境におかれた人々が、何を自分の文化と見なし、それをよりどころにしていかに生きていくことが可能かという問題が、ますます重要性を帯びつつある。それは、文化というものを、いかなる主体がどのように構築するのかという問題でもある。本演習では、このような問題に広く関わるテーマについて研究指導を行う。注：受講希望者は開講日を問合せください。備考欄にアドレス記載しています。
7122030A6	計量社会学方法 論	林 拓也	人文科学系	前期 火曜日 5・ 6時限 社会情報 学演習室（N 3 3 1）	講義	1年次以上	2時間	2単位	社会的格差・不平等をはじめとする社会現象について、社会学の観点から実証的な研究を進めるための計量的な方法に関する講義と検討を行う。具体的には、リサーチ・クエスチョンや仮説の設定、質問紙等を用いた社会調査の設計と実施方法、調査から得られたデータへの社会統計学の各手法の適用といった一連の研究プロセスを講義した後、これを応用した研究例・分析例を紹介する。また、必要に応じて当該研究の論文を精読する。それをふまえた上で、受講者自身の研究にどのように応用できるかを議論・検討していく。

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
7122040B6	計量社会学方法 論演習	林 拓也	人文科学系	後期 火曜日 5・ 6 時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	社会的格差・不平等をはじめとする社会現象について、社会学の観点から実証的な研究を進めるための計量的な方法に関する演習を行う。受講者各自の研究関心・テーマに基づいて、関連する先行研究を整理・批判的検討を行い、オリジナルなリサーチ・クエスチョンや仮説の設定に向けて議論を深める。次に、それを実証するために必要とされる調査法・分析法を検討する。その後、社会調査によって得られたデータを用いて実際に分析を行い、その結果の報告、および研究発表に向けて議論を行う。
7122050A6	地域社会論	水垣 源太郎	人文科学系	前期 木曜日 3・ 4 時限 E 4 5 4	講義	1年次以上	2時間	2単位	地域社会・地域コミュニティの諸問題とその解決に向けた実践例の社会学的検討を行う。グローバル化や少子高齢化などのマクロ社会変動を背景として、現代の地域コミュニティは、その持続をめぐって、雇用、貧困、防災、医療・福祉、交通、環境、教育、育児にわたる多面的な問題に直面している。こうした状況に対応して、その解決に向けた介入的あるいは地域参加型実践の試みが盛んに行われるようになってきた。この授業では、関連する日英文献及び各種資料に基づいて、地域コミュニティを基盤とした諸テーマの調査分析および解決実践のデザインに関する理論的・応用的な検討を行い、その深い理解と実践能力の向上をめざす。
7122060B6	地域社会論演習	水垣 源太郎	人文科学系	後期 木曜日 3・ 4 時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	地域社会・地域コミュニティの諸課題に関する地域参加型研究の方法と実際について社会学的な検討を行う。現代の地域コミュニティが直面する雇用、貧困、防災、医療・福祉、交通、環境、教育、育児などの諸問題を社会的包摂、ジェンダー平等、多文化共生などの観点から捉えなおし、課題設定のあり方を考察するとともに、その介入型あるいは地域参加型リサーチ・デザインの実践的・応用的な検討を行い、参加者各自の調査研究に反映させることをめざす。授業は自由討論の形式で行う。
7122070A6	地域文化論	寺岡 伸悟	人文科学系	前期 月曜日 7・ 8 時限 N 3 3 0	講義	1年次以上	2時間	2単位	Research and report on social phenomena related to tourism culture, community development, etc., in relation to attendees' interests.
7122080B6	地域文化論演習	寺岡 伸悟	人文科学系	後期 月曜日 7・ 8 時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	Research and report on social phenomena related to tourism culture, community development, etc., in relation to attendees' interests.
7122090A6	歴史文化地理学	内田 忠賢	人文科学系	前期 水曜日 3・ 4 時限 E 4 5 4	講義	1年次以上	2時間	2単位	文化研究の古典・名著を読む。今年度はJ.Clifford『Routes travel and translation in the late twenteen century』（邦訳『ルーツ 20世紀後期の旅と翻訳』）を精読します。同時に適宜、文化人類学、民俗学、地理学、社会学などの文化研究の動向についても情報交換します。
7122100B6	歴史文化地理学 演習	内田 忠賢	人文科学系	後期 水曜日 3・ 4 時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	文化研究の古典・名著を読む。今年度はJ.Clifford『Returns Becoming indigenous in the twenty-first century』（邦訳『リターンズ 21世紀に先住民になること』）を精読します。同時に適宜、文化人類学、民俗学、地理学、社会学などの文化研究の動向についても情報交換します。
7122110A6	都市社会空間論	吉田 容子	人文科学系	前期 木曜日 9・ 1 0 時限 教員研 究室	講義	1年次以上	2時間	2単位	空間は人間や社会にとっての単なる器ではなく、また、その内部は均質なものではない。空間は多様なスケール（たとえば、グローバル世界、国家、都市、地域コミュニティ、家庭、身体）をもち、それぞれの空間内部では、様々な行為主体によって関係性が生み出され、その関係性がまた空間に投影されている。本講義では、都市社会地理学における国内外の研究成果を踏まえ、相互関係性の産物としての空間に投影される社会的諸関係（おもに、エスニシティ、ジェンダー、セクシュアリティ）に着目し、都市空間に内包される諸問題を読み解いていく。
7122120B6	都市社会空間論 演習	吉田 容子	人文科学系	後期 木曜日 9・ 1 0 時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	現実の都市空間に存在する権力の諸関係を、エスニシティ、ジェンダー、セクシュアリティをはじめ高齢者や障がい者といった社会的マイノリティの視点から読み解き、空間が相互関係性の産物であり社会的に構築されるものであることについての深い理解を促す。英語あるいは日本語の文献講読を中心とした演習形式の授業を中心に進めるが、受講生や教員の研究報告の場も設け、具体的事例を通じて都市空間のダイナミズムをめぐって議論を活発化させていきたい。 The aim of this class is to understand power relations that exist in urban space from the perspective of social minorities, such as ethnicity, gender, sexuality, the elderly and the disabled, and to promote a deep understanding of how space is a product of interrelationships and is socially constructed. We will take a form of exercises, mainly by reading English or Japanese literature, and will also set up a discussion for students and the teacher to report on their own research results. Through concrete examples, we hope to stimulate discussion on the dynamism which
7122130A6	地域情報解析論	石崎 研二	人文科学系	前期 木曜日 1・ 2 時限 教員研 究室	講義	1年次以上	2時間	2単位	文献講読や研究テーマの発表を通じて、社会・経済現象を地域的・空間的な視点から読み解くための理論的・計量的方法を学ぶ。また、地理情報システム（GIS）を活用したデータ収集・分析に関する方法論を実践的に学ぶ。
7122140B6	地域情報解析論 演習	石崎 研二	人文科学系	後期 木曜日 1・ 2 時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	文献講読や研究テーマの発表を通じて、社会・経済現象を地域的・空間的な視点から読み解くための理論的・計量的方法を学ぶ。また、地理情報システム（GIS）を活用したデータ収集・分析に関する方法論を実践的に学ぶ。
7122150A6	行動地理学	西村 雄一郎	人文科学系	前期 水曜日 9・ 1 0 時限 S 1 1 4	講義	1年次以上	2時間	2単位	この講義では、認知・行動地理学・時間地理学に関わる最新の研究動向を紹介するとともに、その学術的、社会的意義について考察していきます。これまでに行われてきた研究の方法論・調査手法・調査結果など研究のプロセスを含め、その変化を受講生とともに検証していきます。
7122160B6	行動地理学演習	西村 雄一郎	人文科学系	後期 水曜日 9・ 1 0 時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	この講義では、GIS（地理情報システム）による行動データの分析を題材に、情報通信技術（ICT）の発展によって、私たちが日常生活の中で利用するようになった地理情報と行動データの現在、その利点や問題点・課題に関して、アクティブラーニング・実習形式による学習を行います。

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
7122170A6	地域自然災害論	高田 将志	人文科学系	前期 月曜日 9・ 10時限 S11 1-3	講義	1年次以上	2時間	2単位	モンスーンアジアの湿潤変動帯に位置する日本列島では、火山・地震災害や水害・土砂災害の脅威が大きい。地域毎に異なる自然～人文社会環境と自然災害の発生要因に関する十分な理解なしには、このような災害への対応策を考えることは困難である。そこで本講では、日本国内のいくつかの具体的な地域を取り上げ、地域の自然・人文社会環境と自然災害の特色・発生要因について検討する。
7122180B6	地域自然災害論 演習	高田 将志	人文科学系	後期 月曜日 9・ 10時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	受講生各自に、個別具体的地域の自然災害にかかわる国内外の研究論文の内容紹介をもらい、それについて討議を行う。その中で発見した課題に関して、各自が行った文献調査やフィールド調査の結果を報告してもらい、更に討議を行う。 We discuss the contents of domestic and foreign research articles on natural disasters in specific area. Students must report the results of their own literature reviews and field surveys.
7122190A6	アジア自然環境論	浅田 晴久	人文科学系	前期 金曜日 9・ 10時限 教員研 究室	講義	1年次以上	2時間	2単位	東南アジアから南アジアにかけての湿潤地域は、アジアモンスーンという日本と共通する自然環境下でありながらも、その社会や文化は独自の発達を遂げてきた。授業では、湿潤アジア地域を研究対象とする文献の紹介を通して、熱帯の社会や文化がいかに成り立っているのか、自然環境や歴史的背景を踏まえつつ考察する。また、地域研究の方法論、地理学との違いについても議論する。
7122200B6	アジア自然環境論 演習	浅田 晴久	人文科学系	後期 金曜日 9・ 10時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	This course will introduce the latest topics in studies of Southeast Asia, South Asia or other tropical regions in Asia. Physical structures, historical backgrounds, socio-economic conditions will be considered to understand the contemporary problems in Asian countries. The results of review work or field survey by students will also be presented and discussed for their better academic performances.